

# 島嶼県の地域防災について考える

## 2019年度 災害危機管理シンポジウム 実施要項



参加者申込用  
財団 HP QR コード

日時：2020年1月14日（火）13:00～16:30（受付 12:30）

場所：沖縄産業振興センター内 中ホール（那覇市字小禄 1831 番地 1）

主催：公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

### 趣旨：

本県では、1万8,000人以上の外国人が暮らしています。その出身国籍は124カ国にも上り、それぞれの持つ習慣・文化の枠を超えて、地域社会は必然的に多様化せざるを得ない傾向にあります。加えて沖縄を訪れる外国人観光客数は、年間300万人を超えました。

このような状況の中、もし沖縄県で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういことが起こるのか。

本シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッションを通して、地域が抱える災害危機管理上の課題を掘り下げ、それぞれの立場で対応策について考える機会を持ち島嶼県沖縄の地域防災力の向上に寄与することを目指します。

### 参加者募集締め切り：2019年12月25日（水）

- （1）申込みは財団 HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)または QR コードから行うことができます。
- （2）参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ます。 予めご了承下さい。

### 次第：

13:00 開会

13:00～13:10 **【趣旨説明】災害時における外国人のニーズと財団の役割**  
(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課長 根来 全功

13:10～14:40 **基調講演「南海トラフ地震から命を守る（仮題）」**  
名古屋大学減災連携研究センター センター長 福和 伸夫

14:50～16:25 **パネルディスカッション**  
**「島嶼部の抱える問題と沖縄特有の地域防災について（仮題）」**

パネラー	名古屋大学減災連携研究センター センター長 福和 伸夫
	総務省沖縄総合通信事務所 総括調整官 防災対策推進室長 伊藤 弘道
	気象庁沖縄气象台 地震火山課長 下坪 善浩
	株式会社セコマ 広報部長 佐々木 威知
コーディネーター	在沖縄米総領事館 首席領事 政治軍事経済担当領事 ヒラリー・ダウアー
	一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎

16:30 閉会